

目次

はじめに	1
一 鳥取県教育会とは何か	
(一) 明治期鳥取県教育会の目的と事業	9
県教育会の結成から解散まで／会員の協同による県教育の進歩を目指して	
(二) 因伯私立教育会の結成―鳥取県教育会の嚆矢―	13
光明寺における県内指導的教員の会合／県の関与／官立東京師範学校卒業生の主導的役割／会員の「権利」実現を支える体制の不整備	
(三) 明治期鳥取県教育会の会員と幹部	21
会員の構成／会長・副会長人事―県教育行政責任者の就任／副会長を長期に務めた教員／評議員を務めた指導的教員／幹事人事―県師範学校教員・小学校長／幹事を長年勤めた指導的教員／自己研鑽に努め続けた実力派師範卒教員による実務経営	
二 鳥取県教育会における小学校教員批判の勃興	
(一) 明治三〇年代における小学校教員	35
日清戦争後の教育に対する期待／低かった小学校教員の地位／時代に向き合う教員たち	
(二) 日清戦争後の小学校教員批判	38
鳥取県教育への問題意識と『山陰之教育』／「研究の念」の不足／実業・交易関係者に比べて強い依頼心／教員の機能不全に対する不満	
(三) 教員検定試験と教員の学び	44
教員が学ぶのは何のためか／教員の学びを教員検定試験の準備に止めるな	
(四) 県内教員の性質に対する批判	48
情熱・気概などの不足／議論の活性化による相互交流・意見交換・共同研究の必要性	
三 鳥取県教育会における教育研究態度批判の展開	
(一) 県内教育界の混乱・沈静・安定化	52

(一) 授業参観・批評の奨励……………	55
授業実践に対する関心の高まり／授業批評方法の模索	
(三) 実践的・実効的教育研究の推進を目指して……………	59
研究環境に対する問題意識の勃興／県師範学校附属小学校の共同研究モデルの紹介／多忙化する教員と研究奨励	
(四) 子ども・地域・国家の事情に応じた教育開発……………	64
理想の安易な実践化に対する批判／教育結果に基づく教育研究の必要	
(五) 明治三〇年代の鳥取県教育会における小学校教員批判の特徴……………	69
教員批判から生じた共同研究態度の要求／子ども・地域・国家に応じた実証的研究の奨励	
四 鳥取県教育会による教育研究の奨励	
(一) 鳥取県教育会における事業の多様化……………	74
(二) 教員講習事業の展開……………	75
夏期講習会の開講／夏期講習会の講師／常設教員講習所の設置	
(三) 県内における教育研究の発表推進……………	81
県師範学校附属小学校・郡市教育会の研究成果の発表／二宮尊徳・報徳研究の発表	
(四) 日露戦争に関わる教育研究調査……………	84
日露戦争と県教育会／日露戦争時の教育状況調査／戦後教育研究部の組織／日露戦後に おける義務教育延長に向けて／日露戦後における教育研究の意義／研究部の設置	
(五) 県内外に広がる教員社会の形成と教育研究の奨励……………	96
県内指導的教員の組織化／全国教育大会の開催	
(六) 教育成果と教育研究……………	100
教育品展覧会の開催／教育品展覧会による教員の研究奨励	
おわりに ……………	103

本巻記載事項略年表／参考文献／協力者／あとがき